アカミミガメの引き取り開始
初日は7匹持ち込み

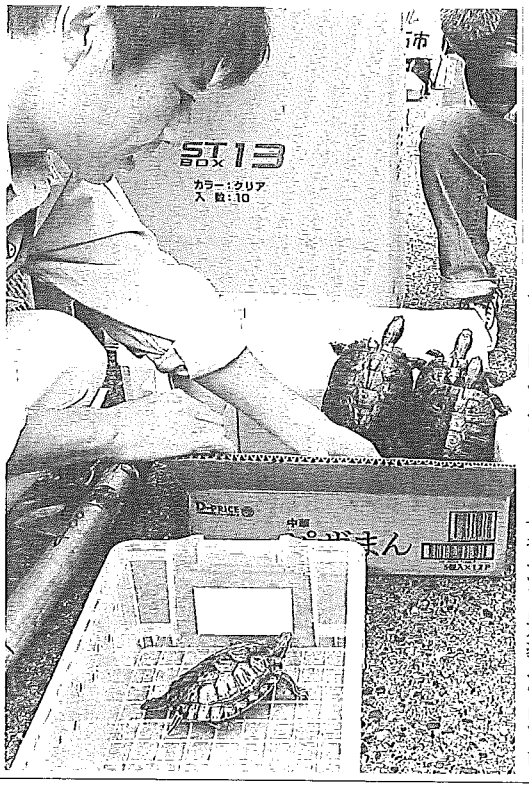
家庭で飼えなくなった北米原産の外来種ミシシッピアカミミガメ（ミドリガメ）を市が引き取る「捨てたらアカン！ミドリガメ　キャンペーン」が16日から始まった。初日はあかねが丘学園（松が丘5）に回収用の「カメポスト」が設置され、3件7匹が持ち込まれた。31日までの平日、日替わりで市内計13カ所を巡回する。

アカミミガメは繁殖力が強く、日本固有種のニホンイシガメの生息環境を圧迫するなど各地で影響が出ている。市によると、市内の川やため池には計1万匹以上が生息。ペットとして飼われていた個体が投棄される事例が多いという。

この日は、市民3人がアカミミガメを持参。市職員が飼育できなくなった理由などを聴き取った。5匹を持ち込んだ大蔵谷清水の男性(85)は「4年前には3㌢くらいだったが、家で飼えない大きさになった。愛着があるので、処分されず飼育してもらえるのがありがたい」と話していた。

市が預かったアカミミガメは、神戸市立須磨海浜水族園内の淡水ガメ保護研究施設「亀楽園」に収容する。

カメポストまで持参できない場合は、日時を調整の上、職員が引き取りに出向く。カメの引き取りと、専用のカメダイヤル☎078・918・502 9（期間中の平日午前8時半～午後5時）は明石市民限定。（藤原昇平）



家で飼えなくなったアカミミガメを引き取る市職員＝松が丘5